

報道機関各位



アート と サイエンス
両面楽しめる！

長岡市教育部中央図書館長

写真展「138 億光年 宇宙の旅」を開催

栃尾美術館は、開館 30 周年企画の第 2 弾として、広大な宇宙の神秘と美しさを体感できる写真展「138 億光年 宇宙の旅」を開催します。

本展では、NASA（アメリカ航空宇宙局）の画像を中心に、太陽系から銀河系内の星雲や星団、そしてさらにその先にある無数の銀河や銀河団など、多様な天体の姿を大型の高品位銀塩写真プリント約 120 点で紹介します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、周知にご協力いただくとともに、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

栃尾美術館 開館 30 周年企画 写真展「138 億光年 宇宙の旅」

- 1 期 間 9 月 20 日（土）～11 月 24 日（月）
月曜日休館
※ 10 月 13 日（月）、11 月 3 日（月）、24 日（月）は開館し、
10 月 14 日（火）、11 月 4 日（火）を休館
- 2 開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時（発券は午後 4 時 30 分まで）
※ 9 月 27 日（土）、28 日（日）は、栃尾地域のイベント
「トチオノアカリ」開催にあわせ、午後 7 時まで開館時
間を延長（発券は午後 6 時 30 分まで）
- 3 会 場 長岡市栃尾美術館（長岡市上原町 1－13）
- 4 料 金 一般 1,000 円、高校・大学生 500 円、中学生以下無料
- 5 そ の 他 展示内容・イベントなど、詳細は添付のチラシをご覧ください。



←月探査機ルナークリコネッサンス・オービターがとらえた
「地球の出」 NASA/Goddard/Arizona State University

問い合わせ：教育部 中央図書館（栃尾美術館）梅沢
Tel 0258-53-6300

開館30周年企画

写真展

138億光年 宇宙の旅



2025
9.20(土) - 11.24(月)

月曜休館 (ただし10/13・11/3・11/24は開館し、10/14・11/4を休館)

開館時間 9:30-17:00 (観覧券の販売は16:30まで)

9/27(土)・9/28(日)は、栃尾地域のイベント「トチオノアカリ」開催のため、19:00まで開館時間を延長します (観覧券の販売は18:30まで)

観覧料 一般 1,000(800)円 高・大生 500(400)円 中学生以下無料

* () 内は20名以上の団体料金 * 障がい者手帳等提示の方・介助者は無料

主催 長岡市・長岡市教育委員会

主管 長岡市栃尾美術館

監修 渡部潤一(国立天文台 上席教授)

協力 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台
富士フイルム株式会社、トチオノアカリ、長岡地域理科教育センター
NPO法人 星空ファクトリー

企画制作 株式会社クレヴィス

企画協力 岡本典明(サイエンスライター)

長岡市栃尾美術館

NAGAOKA CITY TOCHIO ART MUSEUM

〒940-0237 新潟県長岡市上ノ原町 1-13

TEL.0258-53-6300 FAX.0258-53-6370

<https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/tochibi>


新潟県文化祭



トチオノアカリ



HP



X(エックス)

月探査機ルナー・リコネッサンス・オービターがとらえた「地球の出」

NASA/Goddard/Arizona State University



NASA(アメリカ航空宇宙局)の画像を中心に、観測衛星や惑星探査機、宇宙望遠鏡等がとらえた美しく驚異的な天体写真を選びすぐてご紹介します。

太陽系から、銀河系内の星雲や星団、そしてさらにその先にある無数の銀河や銀河団など、多様な天体の姿を大型の高品位銀塩写真プリントでご覧いただきます。

また本展は、ハワイ島マウナケア山頂域(標高4200メートル)にある世界最大級一枚鏡を持つ光学赤外線望遠鏡であるすばる望遠鏡など、国立天文台関連の大型望遠鏡による観測成果の一部を交えてご紹介する貴重な機会となります。

サイエンスでありながらアートのごとく見る者を魅了する画像の数々。

宇宙の謎や神秘を紐解く人間の英知や科学技術発展の素晴らしさをご体感ください。

a: 太陽観測衛星 SDO がとらえたプロミネンス NASA's Goddard Space Flight Center/SDO b: いくつかのじゅう座 V838 NASA and The Hubble Heritage Team (AURA/STScI)
c: 「創造の柱」M16(わし星雲)中心部 NASA, ESA, and the Hubble Heritage Team (STScI/AURA) d: 棒渦巻銀河 M83 NASA, ESA, and the Hubble Heritage Team (STScI/AURA) e: 土星探査機カッシーニ最後の全景ショット NASA/JPL-Caltech/Space Science Institute

監修 渡部 潤一
Junichi Watanabe



自然科学研究機構国立天文台天文情報センター長・上席教授、総合研究大学院大学先端学術院天文科学コース教授。1960年、福島県生まれ。1983年、東京大学理学部天文学科卒業。1988年、東京大学にて学位取得(理学博士)。国立天文台広報普及室長、アーカイブ室長、副台長などを歴任。専門は太陽系小天体(彗星、小惑星、流星など)の観測的研究。国際天文学連合(IAU)では惑星定義委員として準惑星という新たなカテゴリーをつくり、冥王星をその座に据えた。また、国際天文学連合副会長を2024年まで務めた。

イベント(当日の観覧券が必要)

①ギャラリートーク 申込不要
10/12(日)・10/19(日)・10/26(日)
いずれも14:00～(1時間程度)
会場: 2階展示室
展示解説: NPO法人 星空ファクトリー

②天体観測会 申込必要
11/1(土) 17:30～19:00
指導: 長岡地域理科教育センター
定員: 15組
申込: 10/11(土) 9:30～電話で受付(先着)
※雨天曇天の場合等、予定が変更になる場合があります。
詳しくは、当館HPをご覧ください。



- JR長岡駅大手口11番線から見附経由栃尾車庫前行バス60分、または同駅東口4番線から新榎トンネル経由栃尾車庫前行バス45分、「中央公園前」下車 徒歩15分、または終点「栃尾車庫前」下車 タクシーで5分
- JR長岡駅東口からタクシーで20分
- お車: 長岡ICから40分、中之島見附ICから20分

長岡市栃尾美術館
〒940-0237 新潟県長岡市上の原町1-13
TEL: 0258-53-6300 FAX: 0258-53-6370